

科目名	地域と企業／地域企業論
単位数	2単位
担当者	藤井 正男
授業種別	講義科目

サブタイトル	地域経済の中心となる地域企業ないし中小企業の特性を学ぶ。
授業内容	本講義では、日本産業の競争力を支えてきた中小企業の構造的問題について考察することを目的としています。そこで、中小企業の歴史的な変遷および成長プロセスを検討しながら、中小企業の存在意義について明らかにします。また、近年のベンチャー企業についても鑑み、中小企業が地域経済の担い手やグローバル化に寄与していることについて説明します。
アクティブ・ラーニングの要素	発見学習
到達目標	本講義を履修することで、地域企業ないし中小企業の実践的な知識を修得することで、中小企業の地位や役割について理解し、中小企業の特性について説明できるようにする。また、経営環境の変化に対応し、成長を続ける地域企業および中小企業のマネジメントについて考察できるようにする。
到達目標となる駿大社会人基礎力	④論理的・多面的思考力
卒業認定・学位授与方針との関連	本講義は、経済経営学部ディプロマポリシー(1)「基礎的な力」、(2)「考える力」、(5)「総合的な力」と関連します。経営学の基礎知識の基礎となる科目であり、経営学領域の専門的知識・技能を修得して、組織の現場で活用することができる能力形成を目的としています。
関連科目	経済学や経営学の基本的な科目を履修することが望ましい。

テキスト・参考書等

書名	著者	出版社	ISBN	備考
中小企業・ベンチャー企業論	植田浩史他	有斐閣コンパクト	978-4-641-16431-4	教科書
世界に冠たる中小企業	黒崎誠	講談社現代新書	978-4-06-288300-9	参考書
授業外における学習方法及び必要な時間	指定した教科書の該当部分を読んできて下さい（1時間）。講義内容は当日中に再現し、配布した資料などは各自保管して下さい。講義内容を復習しておいて下さい（1時間）。			

成績評価方法

評価方法	評価割合	成績評価基準等
定期試験	60%	講義内容の理解度を図る為に学期末試験を実施する。
レポート	40%	講義の復習も兼ねて4回のレポート提出を課す。
課題に対するフィードバックの方法	学生からの質問などは可能な限り講義中に答えたいと考えています。	

実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験	実践的な教育の取組
-	-

授業計画

回数	内容
第1回	ガイダンス
第2回	日本経済と中小企業
第3回	大企業と中小企業
第4回	地域経済と中小企業
第5回	下請けシステムとものづくり中小企業
第6回	国際化と中小企業
第7回	事業承継と中小企業

第8回	集積・ネットワークを活かす中小企業
第9回	地域と共に生きる中小企業
第10回	中小企業金融
第11回	国による中小企業政策
第12回	自治体による中小企業政策
第13回	企業と経済活性化
第14回	ベンチャー企業の創造・経営と支援
第15回	イノベーションを展開する中小企業
第三者チェック①	<ul style="list-style-type: none">・要修正／2024.02.09 大松確認： 成績評価方法は複数にわたることが望ましいです。定期試験以外にも評価手段を何卒ご考慮ください。・追加入力をお願い／2024.02.11大松確認： 申し訳ございません。僕の見落としがありました。もう一点ご入力いただきたい箇所がございます。「課題に対するフィードバックの方法」欄をご入力ください。・修正・追記済み／2024.02.11大松確認
第三者チェック②	
第三者チェック③	